

「麒麟獅子舞」本番へ練習に汗



あすから浜坂地区で「川下祭り」

新温泉

但馬三大祭りの一つ、「川下祭り」が15日から3日間、新温泉町の浜坂地区で行われる。地元の宇都野神社の例祭で、境内や家々の軒先で披露される「麒麟獅子舞」が祭りの目玉の一つ。地域の高校生や大人が本番前の8～13日、地元の公民館で練習に汗を流した。

麒麟獅子舞は美方郡や鳥取県で伝わる伝統舞踊で、2019年に日本遺産に認定された。笛や太鼓、「ジャンシャン」と呼ばれる打楽器の音色に合わせて、中国の伝説上の動物「麒麟」を模した獅子が舞う。

腕の使い方を教わりながら練習する地元住民―新温泉町浜坂

川下祭りでは、麒麟獅子が1帯の家々を回ることによって家内安全につながるとされる。本番に向けた練習は、毎夜1時間半～2時間行われ、地元の10～50代の男女30～50人が参加。2頭の獅子が同時に舞うため、互いに動きを合致させ、獅子が大きく見えるような体の動かし方を稽古した。

浜坂高校1年の中川涼平さん(15)は、同校の「麒麟獅子舞部」に所属しており、

「初めて大人と一緒に練習させてもらった。緊張したけど、本番も頑張りたい」と話した。

初日の15日は宵宮で、演芸を披露するための移動式舞台「京一屋台」が地域を巡回。16日の本祭では、みこしや麒麟獅子が同神社や浜坂地区の家を回る。最終日の還御祭では、地元の小学生4人が巫女姿で舞い、地域の安泰を願う神事などがある。

(斎藤 蒼)